

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		衛生自治会運営事業		担当課		市民環境課		(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係		環境政策係		活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
まちづくりプラン (基本目標)		振興計画	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち		予算科目	会計	1	4	1	4					
(個別目標)		画体系	3	ものを大切にし、自然環境にやさしいまち		主な費目	負担金補助及び交付金		環境学習会実施数	回	75	75	75	75	75	75
(施策)		3	市民による環境保全・環境美化活動への支援		対象	衛生自治会		その他衛生自治会補助事業	件	30	30	30	30			
事業期間		平成18年度～		年度 (年間)				成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	資源ごみ量	t	7,100	7,100	7,100	7,100		
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	埋立ごみ量	t	7,467	7,826	8,500			
年間トータルコスト	財源内訳	国庫支出金	千円													
		県支出金	千円													
		地方債	千円													
		その他	千円													
		一般財源	千円													
		事業費計 (A)	千円	9,085	9,085	7,000	7,000	7,000	7,000							
		所要人員 (年間)	人	0.300	0.300	0.300	0.300	0.300	0.300							
	人件費概算 (B)	千円	1,710	1,710	1,710	1,710	1,710	1,710								
	(A) + (B)	千円	10,795	10,795	8,710	8,710	8,710	8,710								
(2) 事業概要																
事業目的	環境衛生思想の普及、公衆・家庭衛生環境の向上改善に努め、市民が健康で快適な衛生的環境の中で生活できるようにすることを目的とする。															
事業内容	志布志市衛生自治会が実施する事業に対して市として補助を行う事業である。確実なごみ出しを実施するための組織であり、市内の環境美化を図るとともに、市民の環境に対する意識を高めるため、環境学習会の実施やごみステーション整備補助事業などの補助事業の実施。															
開始経緯	確実なごみ出しを行うために、平成18年4月1日に旧町の衛生自治会が合併し事業を開始した。															
実施状況	確実なごみ出し、美化活動の充実、地球温暖化防止のためのエコライフの推進を目的に、環境学習会をはじめ、ごみステーション設置補助事業等の各種事業を実施した。また、組織活性化のため3部会を構成し、部会による主体的な取組を実施した。さらに、市内のイベントにおいてオリジナルマイバック作成ブースを設置し、エコバック利用の普及・啓発を行った。															
成果	令和2年度衛生自治会加入率 65.97% (10,177世帯/15,426世帯) (1) 環境学習会 36件 (457人) (2) ごみステーション整備補助事業 2件 (3) 分別報奨金支給事業 6,999,100円 (4) マイロードクリーン大作戦登録者数 1,108人 (総延長 838.2km)															
課題	衛生自治会と市の役割を見直す必要がある。															
				有効性評価		効率性評価		達成度評価		改革改善案						
				・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性		・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携		・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間		拡充		現状維持		○ 改善		
				家庭から排出される一般廃棄物に関しては市町村の事務であるため、確実なごみ出しを行うことが不可欠である。また、本市には焼却施設がないため、分別を徹底することにより、最終処分場へのごみの搬入量を少なくすることが重要である。環境学習会等を実施し、市民の分別に対する意識啓発に努めている。		確実なごみ出しの実施するための組織であり、補助事業についても、衛生自治会費を納めている会員へ行っている。		環境学習会等の実施で分別に対する意識啓発は行っている。その他衛生自治会補助事業については、一定の効果が得られた。				効率化		廃止終了		
				その他衛生自治会補助事業については、一定の効果が得られたので、今後は衛生自治会と市の役割を見直す必要がある。												



令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		使用済紙おむつ再資源化事業					担当課		(3) 指標の推移									
							市民環境課		環境政策係		活動指標 (実施状況)		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
							担当係		単位		(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
							環境政策係				(実績)	(実績)	(実績)					
							会計											
							款											
							項											
							目											
							備考											
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち					1	4	2	2							
(個別目標)	画面	3	ものを大切にし、自然環境にやさしいまち					委託料										
(施策)	体系	1	「めんどくさいのススメ」と再資源化の推進					委託料										
事業期間		平成24年度～		年度 (年間)			対象		市民									
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)										
年間 トータル コスト	事業内訳	国庫支出金	千円															
		県支出金	千円															
		地方債	千円															
		その他	千円															
	一般財源		千円	213	3,221	0	28,367	20,000	20,000									
	事業費計 (A)		千円	213	3,221	0	28,367	20,000	20,000									
	人員費		人	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200									
所要人員 (年間)		人	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200										
人件費概算 (B)		千円	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140										
(A) + (B)		千円	1,353	4,361	1,140	29,507	21,140	21,140										
(2) 事業概要																		
事業目的	使用済紙おむつ再資源化に向け、市民をはじめ関係者で構成する協議会を開催し、処理技術の確立、施設整備等に関する検討を実施し、事業化に向けた環境整備をする。																	
事業内容	現在、埋立処分するごみの10~20%が紙おむつと見込まれており、紙おむつを再資源化することにより、最終処分場の延命化及びごみの再資源化率の向上が見込まれるため、事業化に向けた取り組みを実施する。																	
開始経緯	埋立ごみの約2割を占めている紙おむつを再資源化することにより、最終処分場の延命化が図られることから、平成24年から調査・研究している。																	
実施状況	再資源化推進協議会を令和3年2月に開催し、活動経過報告やモデル回収について協議を行った。技術開発については、有限会社そおりサイクルセンター内の実証施設において、継続的に実証実験を行った。ボックス回収を令和3年1月から公民館や認定こども園等の6ヶ所で実施した。																	
成果	株式会社ユニ・チャームの協力の下、実証施設の改良等を進め、パルプ等の回収率向上ができた。基礎的な再資源化技術はすでに確立できている状況にある。																	
課題	事業化に向けて収集運搬等の経費についても、引き続き検討する必要がある。																	
(3) 指標の推移									(4) 評価									
活動指標 (実施状況)									所管課による評価									
埋立ごみ量									紙おむつが一般ごみから除かれることにより、最終処分場の延命化が図られる。									
紙おむつ量									最終処分場の延命化が図られることにより、新規処分場や土堰堤の建設コスト減になる。									
成果指標 (成果・効果)									達成度評価									
埋立ごみ量									・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間									
再資源化率									・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性									
改革改善案									○ 現状維持    改善    効率化    廃止終了									

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		地域再エネ導入を計画的・段階的に進める戦略策定支援事業					担当課		(3) 指標の推移							
							市民環境課		環境政策係					活動指標 (実施状況)		2年度
							担当係		単位		(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
							環境政策係				(実績)	(実績)				
							会計									
							款									
							項									
							目									
							備考									
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1		4					
							1		4		1		4			
							4		1</							

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		生物多様性保全事業		担当課			市民環境課			(3)指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係			環境政策係			活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち	予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	4	備考					
		3	ものを大切にし、自然環境にやさしいまち		主な費目			委託料										
		6	生物多様性の保全		対象			市民										
事業期間		令和4年度～		年度		年度		(年間)		成果指標（成果・効果）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
(1)総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)			単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円			160	150											
		県支出金	千円															
		地方債	千円															
		その他	千円			2,139												
		一般財源	千円			1	2,602	2,750	2,750									
	事業費計 (A)	千円	0	0	2,300	2,752	2,750	2,750										
	人件費	所要人員 (年間)	人			0.025	0.025	0.025	0.025									
	人件費概算 (B)	千円	0	0	143	143	143	143										
(A) + (B)		千円	0	0	2,443	2,895	2,893	2,893										
(2)事業概要																		
事業目的	市民の生物多様性の保全と持続可能な利用についての意識向上を図る。																	
事業内容	生物の多様性の保全と持続可能な利用に繋げるために、市民・事業者・各種団体・行政機関が連携・協働しながら取り組みを行って行く。																	
開始経緯	生物多様性の保全と持続可能な利用の認識向上につなげていくためのきっかけづくりとしての、生物多様性の恵みとふれあう自然体験や環境学習の機会を提供することにより、意識向上に繋がる。																	
実施状況																		
成果	○ 拡充      現状維持      改善      効率化      廃止終了																	
課題	改革改善案																	
(4)評価										所管課による評価								
有効性評価										<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズ</li> <li>事業の効果</li> <li>政策との整合性</li> <li>事業を廃止の影響</li> <li>類似事業との連携</li> <li>公平性</li> </ul>								
効率性評価										<ul style="list-style-type: none"> <li>事業効果向上</li> <li>事業費削減</li> <li>事務の効率化</li> <li>費用対効果</li> <li>財政負担の必要性</li> <li>関係者との連携</li> </ul>								
達成度評価										<ul style="list-style-type: none"> <li>数値目標</li> <li>目指す状況</li> <li>実現性</li> <li>情勢・環境の変化</li> <li>事業期間</li> </ul>								

